

2020年度
NO.4
7月号



小学部だより

作新学院小学部
2020年6月25日
<https://www.sakushin.ac.jp>

B日課とはいえ、学校再開を果たせたのが6月1日(月)のこと。それから4週間が経とうとしています。4週目の今週月曜日からは、通常日課に戻すことができました。前年度の3月以来、ここに至るまでの道のりは長かったと、やはり感慨にふけてしまいます。どうやれば、子どもたちとつながれるのか。どうやったら、安全の確認が取れるのか。保護者さまと情報交換をするにはどうしたらよいのか。前半は、そればかり考えていたように思います。

後半、分散登校が始まったあたりからは、子どもたちの安心の確保をどうするのか。環境整備はもちろん、あいさつや励ましなどの声かけのタイミングをとるのに慎重になったものです。それでも、徐々に中庭で遊ぶ子どもたちを見るにつけ、子どもたちの方が生き生きと生活していることに気付かされる日々でした。

最近の報道によれば、暗い話ばかりではないようです。秘かに注目している藤井聡太七段のことです。実は、彼がまだ名古屋大学附属中学校3年生の時に、彼の講演を聞いたことがあります。「大好きなことは時間を忘れて取り組んでしまう(もちろん将棋ですが)」と口にしていました。緊張したのは、次の言葉でした。「高校への進学をどうするか、実は悩んでいる」というのです。プロとして将棋の世界に飛び込むのか、高校へ進学しながらプロとして活動するのかを真剣に悩んでいる様子でした。若いのにしっかりした少年だと感じ取ったものでした。活躍はあくまでも結果ですが、試合に臨むまでの姿勢あるいは準備は半端の無いものと理解した瞬間でした。これからも、彼の活躍(というより、生き方)を見守っていきたいと思います。もちろん、身近で見守りたいのは本校作新学院小学部の児童であることは言うまでもありません。

7月の行事予定

| 日 | 曜 | 行事予定 | 日 | 曜 | 行事予定 |
|----|---|-----------------|----|---|-----------------|
| 1 | 水 | 学力テスト ~7/2 | 27 | 月 | 午前中授業・午後面談~7/31 |
| 6 | 月 | 幼小交流(2年) | 〃 | 〃 | 心電図1年 進学説明会6年 |
| 10 | 金 | 作新幼稚園保護者対象学校説明会 | 28 | 火 | 心電図4年 |
| 20 | 月 | 終業式 | | | |

夏の集い(盆踊り)・登校日・異文化体験学習について

長年、小学部では夏休み期間中に林間学校や夏の集い(盆踊り)を行ってまいりましたが、ここ数年来の夏の猛暑・酷暑はもちろんのこと、新型コロナウイルス感染症対策として3密を避ける意味においても盆踊りは中止と致します。その代わり、情操教育の一環として季節感を感じてもらえる行事を考えました。低学年で実施していた七夕飾りを「七夕祭り週間」として各学年・クラスで竹笹に短冊を飾り、願いごとを書こうと思います。きっと願いごとは、子どもたちの夢となりそれを達成するための目標となることなのでしょう。保護者の皆さまに置かれましても、ご来校の際に一目ご覧いただきたいと思います。また、7月末に授業週間を展開していますので、8月3日(月)の登校日はありません。

なお、5年生の異文化体験学習は、現状において実施不可能と判断しました。しかし、小学部においても特筆すべき宿泊学習ですので、来年2021年6月23日(水)~6月24日(木)に延期致しました。6年生として異文化体験学習に臨んでもらいます。

連絡事項

1. 例年行われていた宇都宮市小学生水泳競技大会は中止となりました。
2. 7月20日(月) 終業式 (大掃除・給食) 下校は午後1時30分の予定です。
3. 「2020年度作新学院小学部要覧」を今月中にお配りします。大切な箇所(「保護者心得」等)がたくさんあります。よくご確認ください。
4. 新型コロナウイルス感染症対策として、今年度の秋(10月)に予定していた「漢字検定」は中止と致します。



夏休み期間について

- ・夏休み期間 7月21日(火)~8月31日(月)
- ・ただし、原則として、個人面談{7/21(火)・22(水)・27(月)~31(金)の午後}があります。個人面談は各教室で実施、駐車場は西駐車場の高台です。
- ・授業週間 7/27(月)~7/31(金)の午前中。8/24(月)~8/28(金)の午前中。下校時刻・持ち物等については学年便りや学年配信の一斉メール等で確認してください。



作新祭(文化祭)についてのお知らせとお願い

例年、9月の第1週の週末に作新祭(文化祭)が開催されますが、今年は新型コロナウイルス感染症対策として多くの方々に学院に招いての開催は見送ることになりました。その代わり、オンライン作新祭という企画を検討しています。ネット上でバーチャルの作新祭を催し、各設置校の活動の様子を紹介するというものです。どんな展開になるのか、まだまだ未知の部分もありますが、「乞うご期待」とお知らせいたします。